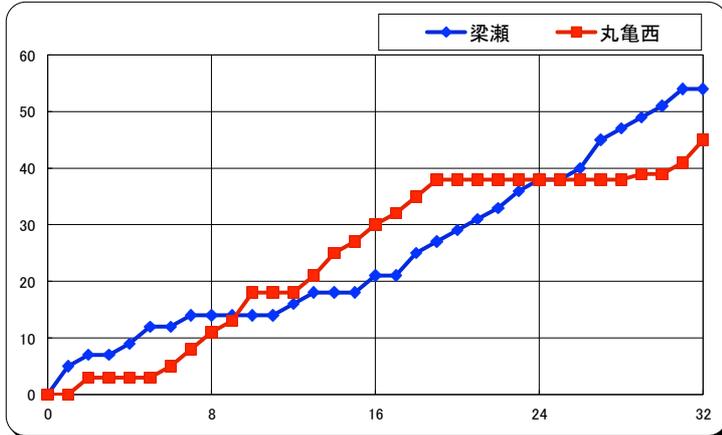




THE 44th ALL ALL JAPAN  
Jr HIGH SCHOOL  
BASKETBALL CHAMPIONSHIP

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	丸亀市民体育館																
日時	平成26年8月24日(日) 13:00																
コート	Bコート	第4試合															
カテゴリー	女 決勝トーナメント																
主審	澤野 卓朗 (青森)																
副審	吉田 康人 (石川)																
Team A		Team B															
梁瀬	54	丸亀西															
兵庫県		香川県															
○		●															
	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>7</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>7</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14	1st	11	7	2nd	19	17	3rd	8	16	4th	7		OT		
14	1st	11															
7	2nd	19															
17	3rd	8															
16	4th	7															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		梁瀬						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	小暮 真美子	×	12	2	3	0	3	
5	小田垣 李奈	×	15	1	6	0	4	
6	小林 明生	×	11	0	5	1	3	
7	尾川 梨歩	DNP	0	0	0	0	0	
8	門 美咲	×	10	2	2	0	1	
9	三笠 菜月	×	6	0	3	0	1	
10	川本 梨江瑠	DNP	0	0	0	0	0	
11	黒柿 真子	DNP	0	0	0	0	0	
12	新 菜々美	DNP	0	0	0	0	0	
13	中島 未来	DNP	0	0	0	0	0	
14	吉野 宇	DNP	0	0	0	0	0	
15	神野 愛生	DNP	0	0	0	0	0	
16	藤原 和佳奈	DNP	0	0	0	0	0	
17		DNP	0	0	0	0	0	
18		DNP	0	0	0	0	0	
監督	岡田 勉						0	
コーチ	吉谷 明希子						0	
合 計			54	5	19	1	12	

Team B		丸亀西						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	吉田 愛	×	2	0	1	0	0	
5	勝間 千紗	／	0	0	0	0	1	
6	菊池 優希	×	19	5	1	2	1	
7	石丸 雪乃	×	6	0	3	0	3	
8	香川 加奈	×	10	1	3	1	1	
9	有木 伽織	×	8	0	3	2	2	
10	堤 乙夏	DNP	0	0	0	0	0	
11	酒井 ころろ	DNP	0	0	0	0	0	
12	平井 楓希	DNP	0	0	0	0	0	
13	吉田 亜美	DNP	0	0	0	0	0	
14	岡田ひまわり	DNP	0	0	0	0	0	
15	岡本 佳那子	DNP	0	0	0	0	0	
16	三嶋 咲愛	DNP	0	0	0	0	0	
17		DNP	0	0	0	0	0	
18		DNP	0	0	0	0	0	
監督	笠井 智代						0	
コーチ	三好 雅俊						0	
合 計			45	6	11	5	8	

【戦評】

決勝トーナメント1回戦、近畿ブロック代表梁瀬と四国ブロック代表丸亀西の一戦。梁瀬、丸亀西ともにゾーンDefでスタートする。梁瀬は、ゾーンDefからボールにプレッシャーをかけ、パスカットからの速攻や#9のリバウンドシュートなどで得点をあげる。丸亀西も#6の3Pシュートなどで対抗し、1Qは梁瀬14-11丸亀西で終える。2Qに入り、丸亀西はゾーンDefが機能し、梁瀬のインサイドをマークしリズムを崩させる。また、丸亀西#6の3Pシュートがよく決まり残り4分で6点のリードを奪う。梁瀬は4分間得点が取れず、2回目のタイムアウトを取り、#8の3Pが決まりリズムを取り戻しそうになるが、丸亀西#8がドライブシュートなどを決め、梁瀬21-30丸亀西で2Qを終える。

3Qに入り、梁瀬はDefを2-1-2のゾーンプレスに変え、前からプレッシャーをかける。パスカットからの速攻や#4の3Pで得点を詰める。丸亀西はボール運びに苦しみ、リズムを崩しシュートを放つが入らない時間が続く。そして、梁瀬は終了間際#8のジャンプシュートでついに同点に追いついた。4Qに入っても、梁瀬のプレッシャーのきいたDefは続き、#5の3Pや速攻などで得点を重ねていく。丸亀西も残り2分でプレスDefに変え、ボールを奪いに行き、#5のゴール下シュートや#4のジャンプシュートで対抗するが追いつけなかった。結局、梁瀬54-45丸亀西で試合が終了した。

【戦評記者】

竹本 伸二